



しかし、最近は認知症があっても活躍している人が増え、認知症に対する捉え方が変化しつつあります。認知症を自分事として考え、認知症になっても、ご自身の生活で大切にしたいこと、やってみたくて、とご家族や身近な人と話し合ってみてください。

考えてみよう 認知症のこと

国の研究報告では、高齢者の約3.6人に1人が認知症またはその予備軍であると言われていています。認知症は誰もがなりうる病気ですが、『認知症になったら何も分からなくなる』『普通の生活を送れなくなる』といったマイナスなイメージをお持ちではないでしょうか。

古い認知症観

- ・他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り
- ・認知症だと何も分からない、できなくなる
- ・おかしい言動で周りが困る
- ・本人は支援される一方
- ・地域で暮らすのは無理
- ・認知症は恥ずかしい、隠す
- ・暗い、萎縮、諦め、絶望的



新しい認知症観

- ・わがごと、お互いさま、向き合う、備える
- ・分かること、できることが豊富にある
- ・本人が一番困っている、本人なりの意味がある
- ・本人は一足先に行く人、支え手でもある、支え合う
- ・地域の一員として暮らし、活躍
- ・認知症でも自分は自分、自然体でオープンに
- ・楽しい、のびのび、あきらめずに、希望を

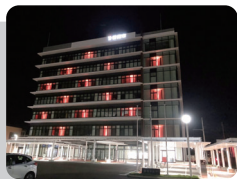
地域包括支援センターにご相談ください



物忘れが気になってきた、認知症かもと思ったら、地域包括支援センターまでご相談ください。ご本人やご家族にとってどのようなサポートが必要かを一緒に考えます。また、自治会、職場、学校、有志の集まり等で認知症に関する講座も開催しております。お気軽にご連絡ください。

地域包括支援センター
☎57-8511

本庁舎を ライトアップします



9月の認知症月間に合わせて、土日祝日の夜間に本庁舎を認知症シンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。(時間:19時~22時)

ライトアップの日程(9月)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 6(土) | 7(日) | 13(土) | 14(日) | 15(月) |
| 20(土) | 21(日) | 23(火) | 27(土) | 28(日) |

マイナ救急が
始まります!

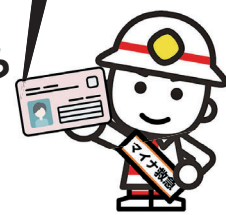
あなたの命を守る 「マイナ救急」 始まります!



マイナ救急とは?

救急隊員が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みの事です。

令和7年
10月1日から
開始!

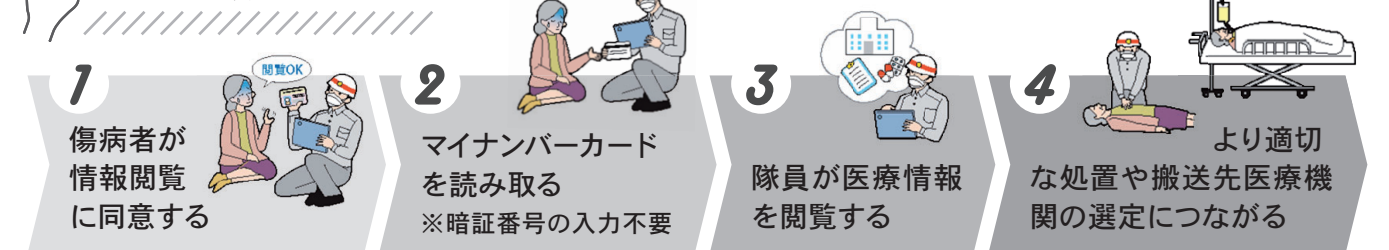


マイナンバーカードを見せるだけで以下の情報が伝わります



- ・傷病者の説明負担が軽減されます
- ・より適切な処置が受けられます

マイナ救急の流れ



マイナンバーカードを作成しているがまだ健康保険証として利用登録していない方は、利用登録をお願いします。



マイナ救急に関する情報は特設サイトでもご覧いただけます